

OUS-VMTH NEWS Letter #15

Okayama University of Science-Veterinary Medical Teaching Hospital

2025年12月



MRI検査再開のお知らせ：VMTHでは、MRI用麻酔モニターの故障により長期間MRIが稼働できない状況が続き、皆様には多大なるご迷惑をおかけしております。このたび、新たなMRI用麻酔モニターの設置の目途が立ち、2026年1月よりMRI検査を再開できる見通しとなりました。再開後は、これまでと変わらずMRIをご活用いただければ幸いです。今後とも何卒よろしくお願ひ申し上げます。（病院長 星 史雄）

VMTH NEWS

・**第74回四国地区獣医師大会**：9月7日、本学にて第74回四国地区獣医師大会が開催されました。研修獣医師の真木瑛太先生と大学院生の影山沙樹先生が、日ごろの研究成果を発表しました。真木先生は抗がん剤の新たな使用法の検討について、影山先生は副腎腫瘍手術後に生じる合併症に関するまとめを報告しました。当日は質疑応答も活発に行われ、大変盛り上がった学会となりました。（水谷 真也）



・**サテライト・シンポジウム**：四国地区獣医師大会の前日には、VMTH主催のサテライト・シンポジウムが開催されました。VMTHからは、小林宏祐先生が猫伝染性腹膜炎（FIP）の最新の臨床知見を、佐伯香織先生が動物看護におけるワン・ヘルスの取り組みについて講義されました。

(TS)



・**いまばりペダル2025**：今治市主催の「いまばりペダル2025」に、VMTHより神田、三河、小林、酒井が参戦！“ファンライド”と呼ばれるこのイベントは、しなまみ海道を含むルートを自転車で走り、景色や休憩地点での食事を楽しむというものーのはずでした。しかし、当日は雨天スタート、予想以上の急勾配、そして「ファンライドとは？」と首を傾げる周囲のスピード感。初心者にはハードな内容（笑）。それでも、全員50kmを走破し、達成感たっぷりの楽しい1日となりました。次は100kmに挑戦します！？（神田 鉄平）



・**第15回VMTH公開セミナー**：11月6日、千寿製薬（株）様・メニワン（株）様の協賛のもと、眼科セミナーが開催されました。動物用点眼薬について、薬物動態や剤形の特徴を踏まえた解説に続いて、眼科の岡田大輝先生より、ご自身の研究テーマでもあるぶどう膜炎について、解剖や病態生理から診断・治療のポイントまで丁寧な講義が行われました。参加者にとって大変有意義なセミナーとなりました。（酒井 治）



新人教職員紹介 水谷 祐子 研修獣医師 10月より放射線治療に携わっています。出産・育児による約6年のブランクを埋めるべく、夫や子供たち、そして周囲の皆様に支えられながら奮闘する日々です。お兄ちゃんが拾ってきたドングリを夜な夜な茹でたり、イヤイヤ期真っ只中の妹ちゃんと格闘したりと慌ただしい毎日



ですが、育児も仕事も手を抜かず頑張ってまいります。

宮崎 匡史 研修獣医師 今秋より、麻酔科研修獣医師として勤務しております。ロックとお笑いと漫画とゲームと美味しいものが大好きです。瀬戸内海式気候の過ごしやすさにどっぷり浸かり、気が付けば今治も8年目。本学獣医学科の一期生であり、卒業生として初の研修医として恥じぬよう、また、学生時代お世話になった先生方と共に働くことのできる貴重な機会を無駄にせぬよう頑張ります！！！



教員の昇任 酒井 治助手（内科）、吉竹涼平 助手（外科）が助教に昇任されました。

コラム1 船長 和田の釣り日誌 #15

10/4 曇り、大島近海。釣り日誌の為、普段はやらないアオリイカを狙います。持ち合わせのロッドにベイトリールをつけ、3.5号のエギでティップランに初挑戦。アオリの生態や捕食方法も勉強し、“イカに選ばれるエギ”を目指してシャクっていきます。魚とは違うアタリで中々抱かせることができませんでしたが、小型ながらも綺麗なアイシャドウのアオリをゲット。“イカの王様”と呼ばれるだけあって味はお墨付き。お刺身で美味しくいただきました。（船長 和田 <愛玩動物看護師長>）



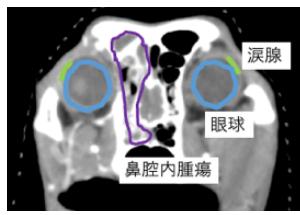
VMTHの診療 眼科診療を再開しました。犬や猫では、人と同じように白内障、緑内障、ぶどう膜炎、角膜の病気など、さまざまな眼のトラブルがみられます。診察では目の状態を丁寧に確認し、必要に応じて検査を行いながら診断を進めています。治療は点眼を中心とすることが多いですが、必要に応じて外科的な治療にも対応しています。軽い充血や「目やに」にも病気のサインが隠れていることがありますので、気になる様子があればご相談ください。動物たちの眼の健康を守るお手伝いができれば幸いです。（岡田 大輝）



VMTH Case Report 9歳の雄のトイプードルが、腎数値の上昇と尿管閉塞の精査のため来院。検査の結果、膀胱と尿道に腫瘍がみつかり、尿管から膀胱へ尿が流れにくい状態でした。膀胱から尿道、陰茎までを全て摘出し、尿管を皮膚に繋ぐ手術を実施。この手術では尿を貯めることができなくなるため、術後は皮膚に作った穴（写真）から尿が漏れますが、マナーバンド（犬用のおむつのようなバンド）などで受け止めることで、支障の少ない日常生活が可能です。病理検査では悪性腫瘍と診断。転移しやすい腫瘍でしたが、幸い手術から3年が経った現在も転移なく元気に過ごしています。（前田 憲孝）



OUS-VET Article Ohnishi A, Takeda S, Okada Y, Tokoro M, Kageyama S, Itoh Y, Asanuma T. Risk Factors for Radiation-Induced Keratoconjunctivitis Sicca in Dogs Treated with Hypofractionated Intensity-Modulated Radiation Therapy for Intranasal Tumors. *Animals*, 15(2258), 2025. 強度変調放射線治療(IMRT)は、放射線を細かく調整し、ピンポイントに腫瘍にあてる新しい技術です。犬の鼻の奥にできる腫瘍に用いた場合、治療後に目が乾きやすくなる乾性角結膜炎(KCS)がみられることがあります。本研究では、治療中に眼球や角膜が受けた放射線量を詳しく評価し、KCS発症との関連を検討しました。その結果、目の周りに高い線量があたるほどKCSが起りやすいことが示され、副作用を抑える線量の目安が明らかになりました。より安全な放射線治療につながる成果として報告しました。(大西 章弘)



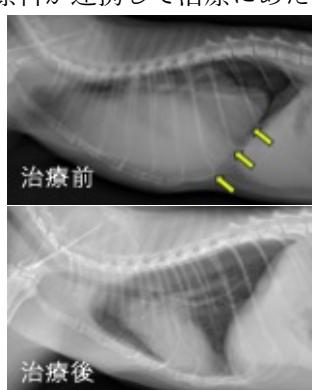
コラム2 診察のあとは、ラーメンです。#3



思いっきり刺激が欲しい夜にはこれ!? 真っ赤で山盛りのビジュアル、分厚すぎるチャーシューがドーン。こちらは、今治市桜井、骨太味覚さんの一杯。赤味噌ラーメンの、カスタムは激辛③、野菜カチ、背脂ギト、ど豚トッピング! 真っ赤な見た目に一瞬怯みながら食べ始めると、辛い中にも背脂の甘さ、

辛味噌スープを吸ったクタクタの野菜の旨みが意外と優しく、しみじみおいしい。ど豚に無心でかぶりつき、麺を夢中で啜って、いつの間にか完食。デザートにアイスを食べて満腹で寝たら、不健康だけど心は健康。(佐藤 愛実<AiCVIM レジデント>)

研修獣医師の日常! 新連載! 腫瘍内科で研修を始めて早1年。VMTHでは様々な診療科が連携して治療にあたっています。写真は胸の中に大きな腫瘍(胸腺腫)ができた猫ちゃんのレントゲン。呼吸が苦しそうだったのでまずは術前治療(ネオアジュvant療法と呼びます)として、飲み薬で”内科”的に腫瘍を小さくし、その後、”外科”的治療(手術)を行い、呼吸も楽になりました。今後、再発があれば”放射線”治療も選択肢となります。内科・外科・放射線科など多くの先生方にご指導をいただきながら日々診療にあたり、幅広い経験を積んでいます。(真木 瑛大)



VMTH の愛玩動物看護師 獣医療に携わるスタッフは、動物の健康維持と同様に自身の安全確保も重要です。特に抗がん剤を取り扱う場合には、触れてしまう(=曝露)リスクを減らす対策が必要となります。VMTHでは識別プレートによる情報共有や、排泄物処理時の個人用防護具の着用を徹底しています。床敷に使い捨て材を用い、汚染部位を抗がん剤分解溶液で清拭することで、スタッフの安全確保に努めています。(森下 利代)



コラム3 しまなみサイクリング日記 !新連載!



今治といえば、しまなみ海道サイクリング。初心者サイクリストの目線から、しまなみ海道の魅力や観光スポットを紹介します。第1回は、今治側から最初に渡る来島海峡大橋を、歩行者・自転車道からご紹介。この橋は途中で2つの島を経由する全長約4kmの三連吊橋で、実は“バリィさん”的モチーフにもなっています。周辺にはレンタサイクルも充実しており、休日には多くの方がこの絶景ルートでのサイクリングを楽しんでいます。(酒井 治)

産業動物診療科だより

POCT(Point of Care Testing)は、【臨床現場即時診断】を意味し、インフルエンザの迅速診断のように、その場で結果が得られる検査技術です。この秋、小型で持ち運びが容易なPCR装置(PicoGene®1100, (株)ゴーフォトン)(写真)が導入され、主に牛のマイコプラズマ肺炎や牛ウイルス性下痢といった感染症の診



断に活用しています。12月6日に開催された家畜感染症学会では、推奨研究としてPicoGene1100®を用いたPOCTの家畜臨床現場での応用について講演をしてきました。このような技術の普及により、家畜疾病の早期診断にさらに繋がることを期待します。(増田 恒幸)

VMTHの診療機器



歯には歯のX線。VMTHでは歯科用X線装置「EzRay Air」(RayVision社)を導入。コードレス・業界最軽量(2.1kg)のため片手で操作でき、散乱放射線も少ないため処置室でも使用可能です。通常のX線装置では捉えきれない歯の細かい評価ができ、処置中の再撮影もスムーズです。歯根の状態や抜歯時の残根の確認など、歯科処置の際には欠かせない相棒となっています。時にはハムスターのX線撮影という裏技も…。なんでも挑戦! Go on, get your teeth into it!(三河 翔馬)

山袋大じて吸寝袋に寝静まる深々とした中石力。先日も県内約三百名のスケートボーデンリーダーを務めているトト五力の山麓に会し、宿泊を伴う活動の冬奥に、小さな体を折り曲がる虫や獸を思う。皆一人一人が入る冬の穴々と、子供と一緒に人獸皆が抱きながら、寝の同じ呼がに鎧ウ。

むしけもの
虫
スカウト眠る
山

コラム4 #5
俳壇逍遙遊 森川大和

編集のつぶやき

- ・ 麻酔科の朱夏希先生が退職されました。今後の活躍を心よりお祈り申し上げます。
- ・ 眼科診療が再開しました。また、1月からはMRI検査も再開の見込みです。ご不便をおかけしましたが、今後も変わらずご紹介いただけますと幸いです。
- ・ 今治も少しずつ冬らしさを感じられる頃となりました。どうぞ皆さま、お健やかにお過ごしください。(TS)

岡山理科大学獣医学教育病院
〒794-8555 今治市いこいの丘1-3
TEL: 0898-52-9001, FAX: 0898-52-9211
Eメール: vmth@vet.ous.ac.jp
URL: https://www.vmth.ous.ac.jp